

教育目標：「知性を磨き 心を見つめ チャレンジする生徒」



『 気づき 考え 行動 』 豊見城市立伊良波中学校 校長 下地 秀隆

「防災講話」 豊見城市防災マネージャー 松田 博之さん



災害が起きたら「あわてず落ち着いた行動
を」自分事として考えることが重要

そのためには

日頃からの準備が「勝負を決める」

・今日の防災講話を聞いて気づいたことは、大きい地震のあとに津波は必ずくるということ。自分は、少しびびりなので、津波の動画を見てびっくりしましたが、これからは、この知識を生かして色々な人を救いたいです。

【1年5組：宜保悠亜】

・地震や津波の恐ろしさを改めて考えることができた。沖縄周辺では15,000回も起き大きいものが来たら15分で到達するとして迅速な判断で行動するようにしたいと思った。「やる気の差は結果の差」だの言葉を忘れないように。

【2年2組：隕石航大】

・私が一番印象に残ったのが津波です。なぜなら、建物の半分の高さまで津波がきたからです。松田さんが紹介してくれた動画やサウンド、講話を通してはじめて災害という怖さを知りました。もし災害がおきたとき、私ができることを今後考えていきたいです。

【3年5組：上原ひなた】